

JR東急目黒ビル

建物諸元(2017年2月現在)

所在	東京都品川区上大崎 3-1-1
主用途	事務所
敷地面積	11,023.348 m ²
延床面積	52,221.089 m ² (鉄道部分除くと 47,030.86 m ²)
階数	地上 17 階 地下 4 階 塔屋1階
竣工年月	2002 年 3 月
事業者・所有者	東日本旅客鉄道株式会社 東京急行電鉄株式会社
設計会社	株式会社東急設計コンサルタント 株式会社ジェアル東日本建築設計事務所
施工会社	鹿島建設(株)・東急建設(株)・鉄建建設(株)
管理会社	株式会社東急コミュニティー
URL	http://www.jebl.co.jp/building/tokyumeguro/ http://www.t-build.com/build/meg/
テナント数	30 社(特定テナント 3 社)

主な評価項目

I 一般管理事項

・CO₂削減推進会議を開催し、所有者・テナント・管理者による問題点の共有や削減の立案・実施報告。それによるテナントとの協力体制作り。

II 建物、設備性能に関する事項

・ガスヒートポンプパッケージエアコン全台高効率型を導入。
・共用部照明の一部 LED 化。

III 運用に関する事項

・空調機の夏季・中間期・冬季の季節ごとの設定や運転時間の改善。
・照明の点灯箇所及び点灯時間の削減。
・テナント協力体制の確立による専有部の省エネ活動。

事業所の概要

当ビルは東急目黒線(旧目蒲線)の地下化、及び地下鉄路線との相互直通運転の決定を機に、その上部と JR 山手線の線路上空を一体化してオフィスを主体とした複合ビルを建設しました。

事務所・店舗・駅施設その他からなる複合ビルであるが、線路上空という特徴をいかし、利便性と快適性を追求しています。

本棟 17 階～3 階をオフィス、2 階 1 階を飲食物販店舗とし、地下 1 階には食料品店舗、別棟に立体駐車場を設けています。地下 3 階は JR 線・東急線・東京メトロの改札口コンコースがあります。

事業所における環境負荷低減の取組

日常での運用改善を図り、まずは共用部から省エネ活動を実施し、専有部テナント使用量の削減の為、CO₂削減推進会議を通じてテナントの積極的な省エネ活動の協力を得られています。

- ・空調機設定温度の適正化及び省エネ設定の普及
- ・照明不要箇所のこまめな消灯
- ・駐車場棟及び共用部照明の LED 化
- ・トイレ、階段室等への人感センサー導入
- ・ガスヒートポンプパッケージエアコン更新に伴い高効率型を導入
- ・省エネファンベルトの採用
- ・エネルギー消費傾向の分析による省エネ対策の検討・実施

事業所外観写真



JR東急目黒ビル エネルギー使用量実績

